

## 抗議の要請文

6月3日の原子力潜水艦オクラホマシティの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦オクラホマシティはただちに横須賀港から出て行くことを要求する。

米海軍第7艦隊司令官      フィリップス・ソーヤー中将    殿  
 在日米海軍司令官        グレゴリー・フェントン少将    殿  
 米海軍横須賀基地司令官      ジェフリー・キム大佐        殿

神奈川県労働組合総連合  
 新日本婦人の会神奈川県本部  
 神奈川県商工団体連合会  
 神奈川県平和委員会  
 安保廃棄神奈川県統一促進会議  
 原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会  
 原水爆禁止神奈川県協議会

6月3日10時41分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦オクラホマシティが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は10回目、原子力艦船の入港は11回目で通算992回となった。

現在、朝鮮半島をめぐる情勢は、南北首脳会談や米朝首脳会談の開催によって朝鮮半島の非核化、平和体制の確立に向け努力が続けられている。この流れは北東アジアの平和と安全にとって大変重要である。われわれは、この流れが前進することを期待する。さらに、イランの非核化をめぐる情勢も重要となっており武力によらない話し合いによる非核化の進展が重要である。

この間、西太平洋やインド洋地域において、米軍と自衛隊が一体化した共同軍事訓練及び軍事演習が行われている。今回の原潜オクラホマシティの横須賀基地入港は、アジア・太平洋地域へ海洋進出を強めている中国などを念頭にした横須賀入港と考えられる。軍事的行動によって平和と安全は生まれない。原潜オクラホマシティの入港は東アジアの平和と安全にとって害はあっても有益性はない。原潜オクラホマシティは直ちに横須賀港から出ていくことを要求する。

米政府の2018年「核態勢の見直し(NPR)」は、核兵器を「安全保障に必要」と正当化し、潜水艦発射ミサイル、陸上配備型大陸弾道ミサイル、戦略爆撃機の近代化、小型核弾頭や核巡航ミサイルなどの開発を進めている。さらに、トランプ政権は、今年2月、中距離核戦力(INF)全廃条約の破棄を通告し、未臨界核実験を実施し核軍拡競争の危険が強まっている。われわれはこのような核兵器廃絶に逆行する一連の行動に強く抗議する。今後、日米核密約によって米原子力潜水艦に核兵器を搭載して横須賀基地に入港することが懸念される。日米間の核密約を直ちに破棄し、非核三原則を国是とする日本の港に核兵器搭載艦入港は行わないことを強く要求する。

首都圏は巨大地震発生の可能性が日々強まり、地震による原子力艦船の原子炉事故発生が懸念される。原子力艦船の原子炉事故による神奈川県民や首都圏住民の放射能被害は断じて許されない。米軍は地震や津波による原子力艦船の事故対策を明らかにし県民に情報公開を行うことを要求する。

横須賀港は米原子力潜水艦の母港ではない。横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、県民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入港をやめること。

原潜オクラホマシティは横須賀港からただちにでて行くことを強く要求する。

以 上